



- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・がんばる子



31日間の前期後半がスタート!



35日間の長い夏休みも終わり、31日間の前期の後半が始まりました。この夏休みは、交通事故・水難事故等の事故や大きなケガもなく、子どもたちは田村市水泳大会やサマースクール、プール開放日の水泳練習にも一生懸命取り組んでいました。前期後半と後期前半には、9/14の市小学校陸上大会、10/4の校内マラソン大会、10/29の学習発表会をはじめ多くの行事があります。6年生の修学旅行<会津方面(11/10.11)>、「田村っ子の元気を支援する事業」を活用しての遠足<いわき方面(11.10)>も計画中です。また、「本物に触れる豊かな体験活動」を重視し、それぞれの学年での体験学習や、10/11.12の文化芸術巡回講演事業「劇団ショコラン：ぬいぐるみ人形劇」、10/13の英語集中プログラム(6年)、11/17の小学校童謡唱歌音楽祭(3・4年)などを予定しています。「関心・感動・感謝」の3かん王を目指し、「チーム要田47名 明るく 温かく 美しく」をモットーに11名の職員で力を合わせて、よい子どもたちを育て、すてきな学校をつくり、よい教育をしていきたいと考えていますので、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

校長の話

夏休みに行われた様々なスポーツ、大きな出来事が2つありました。

一つは「イチロー選手」。日本時間8月8日(月)、マーリンズのイチロー外野手は、ロッキーズ戦に「6番・センター」で先発出場し、7回の第4打席に右超え三塁打を放ち、史上30人目のメジャー通算3000安打を達成しました。約140年のメジャーの歴史で30人しかたどり着いていない領域です。10年連続で200安打以上をマークし、2004年には262安打でシーズン最多安打記録も更新しました。イチロー選手の挑戦はまだ続きます。50歳「4000安打」へ。イチロー選手の言葉です。『**継続(けいぞく)は才能(さいのう)を上回(うわまわ)る。**』「いままで自分がやってきたことを、しっかり継続することが、イチローという選手の能力を引き出すためには、はずせないことです。」と話します。イチロー選手は1本ずつヒットを積み上げるその一瞬、一瞬に命をかけています。この一瞬のために、これまでの人生の時間の多くを注ぎ込んできました。人生とは、目の前の一瞬しか存在しないのです。未来を切り拓くには、目の前の大切な一瞬に命をかける。大仕事を成し遂げるためには毎日の小さな積み重ねを続けることが大切なのです。



二つ目は「リオオリンピック」。メダルラッシュに日本列島が興奮しました。金12個・銀8個・銅21個の計41個のメダル。史上初のカーヌー：羽根田卓也選手の銅メダル、96年ぶりのテニス：錦織圭選手の銅メダル、体操男子団体や個人総合：内村航平選手の金メダル、女子バドミントンダブルス：高橋礼華選手・松友美佐紀選手ペアの金メダル、女子レスリング、五輪史上初の4連覇の伊調馨選手や登坂絵莉選手、土性沙羅選手など、多くの感動をいただきました。バドミントンは16対19からの大逆転、レスリングも残り数秒からの大逆転、内村選手は最後の鉄棒の演技での大逆転と、最後まであきらめないで攻め続ける姿がありました。内村選手は、『**もう何(なに)にもでないところまで出(だ)し切(き)った**』と話しました。

8月から12月までの4ヶ月、イチロー選手や内村選手の言葉を忘れずに、毎日1時間1時間に全力を尽くして積み重ねていく努力と、しっかりした目標を持って毎日の授業や行事に集中し、様々な行事や大会等にも積極的に取り組んで、自分自身を鍛えてほしいと思います。



そこで、次の合言葉で頑張る4か月にしましょう。

★「全力投球・3S」

○ 第1のS：「Study～学習～」

- ・一時間一時間の授業を大切にしてほしい。宿題を忘れないでほしい。読書を頑張ってほしい。

○ 第2のS：「Sport～運動～」

- ・陸上大会やマラソン大会などがありますが、一人一人目標を持って取り組んでほしい。

○ 第3のS：「Speech～発表～」

- ・毎日の授業の中で、また、学習発表会等で話す機会がたくさんあります。自分の思いや考えをしっかりと発表できるようになってほしい。

チーム要田47名、「全力投球3S」を合言葉に笑顔でがんばっていきましょう。